

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 1 回 松阪市社会教育委員会議
2. 開 催 日 時	平成 30 年 6 月 18 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 45 分
3. 開 催 場 所	松阪市教育委員会事務局 2 階教育委員会室
4. 出席者氏名	<p>(委 員)</p> <p>◎梶間裕司、青木貴子、岡田辰也、亀田孝子、小坂滋子、 駒田具夫、高瀬英雄、床呂さや子、中西榮美、濱田和男、 平岡令孝、前田則生、三和晴夫、森本小百合 《◎委員長》</p> <p>(事務局)</p> <p>中田教育長、松名瀬局長、伊藤局次長、青木教育総務担当参事兼 教育総務課長、藤武公民館マネジメント担当参事兼生涯学習課長、 山口国体推進担当参事兼国体推進室長、久世飯南飯高教育環境連 携担当参事兼西部教育事務所長、有瀧学校教育課長、萬濃学校支 援課長、野田子ども支援研究センター所長、永田松阪公民館担当 監、松林スポーツ課長、水本スポーツ施設管理担当監兼管理係長、 井田国体推進室担当監、上山給食管理課長兼松阪市学校給食セン ターベルランチ所長、中村北部教育事務所長、生涯学習係</p>
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	<p>松阪市教育委員会事務局 生涯学習課</p> <p>TFL 0598-53-4396</p> <p>FAX 0598-26-8816</p> <p>e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp</p>

○協議事項・議事録
別紙参照

平成30年度 第1回松阪市社会教育委員会 会議録（要旨）

○日時：平成30年6月18日（月） 14時～15時45分

○開催場所：松阪市教育委員会事務局 2階教育委員会室

○議題

1. 委嘱状交付
2. あいさつ
3. 自己紹介
4. 協議（報告）事項
 - (1) 平成30年度教育予算について
 - (2) 地域の教育力活用推進事業（コミュニティ・スクール）（学校支援課）
 - (3) フルマラソン準備事業について（スポーツ課）
5. その他

○出席者：梶間委員長、小坂副委員長、青木委員、岡田委員、亀田委員、駒田委員、

高瀬委員、床呂委員、中西委員、濱田委員、平岡委員、前田委員、

三和委員、森本委員

○欠席者：廣地委員

◆ 議事

(1) 平成 30 年度教育予算について

委員 資料について、平成 27 年度までは教育予算には詳しい事業内容などが記載されていたが、省略してしまったのか。詳しい事業内容や方針がないと、どういった事業なのかわかりにくい。またそういったことが分らないと、社会教育委員としてもどういう活動をしていけばいいか見えにくい。

事務局 予算の説明の仕方についてはおっしゃられる通りだと思います。松阪市では教育ビジョンという指針も作成しており、それも踏まえながら、次回以降は委員の皆様と協議していただきやすい資料提供をしていきたいと思っています。

委員 社会教育委員として何をすればいいのか、疑問を持っていた。公民館のあり方について諮問を受けた時は、自分なりに社会教育委員として働いたと思えた。これまで市から言われて動いていたが、委員の自主的な意見交換や交流ができるようにして、委員からも意見をまとめ教育委員会と相互に検討して、いい方へ導いていくという方法もあるのではと感じた。

委員 社会教育委員として何もしないまま 1 年が過ぎてしまうので、委員の皆さんの意見も聞きながら今年はどうにか前進していきたい。

委員 社会教育委員会として講演会をするなどして、脱皮していかなければならない。

委員 新しくできた松阪公民館について、利用サークルなどに使用料は取っているのか。例えば自分たちが産業振興センターを借りた時は使用料を支払っている。

事務局 趣味クラブとして、サークル登録してもらっている方々については、使用料は取っておらず、免除となっている。ただし倉庫の使用料は支払ってもらっている。

委員 使用料を取っていないというのはおかしいのではないか。クラブの中で会費などを集めているのだから、受益者負担をしてもらわないと。

事務局 登録しているサークルについては、使用料は免除させてもらっている。その中でクラブの中で決めて、講師への謝礼のためにお金を集めたりしている。

委員 松阪公民館には窓がない。窓がないということは電気を使わないといけない。そうすると施設維持管理費がかかる。ハートフル三雲でも利用する際はお金を支払っ

ている。そのサークルの講師の営利のためにしているような感じがする。今はどこを使ってもお金がいるということを講師にも教えていかないといけない。市に借金があり、財政が厳しいということもあるので、使用料を取っていかないといけない。

事務局 数年前の議論になるが、自主的な活動について行政として支援をしてほしいという声があった。活動する場の確保や環境を整えるということが支援となる。松阪公民館の場合最初の6か月間が有料で、その期間が過ぎれば使用料は免除となる。この場でご議論をいただいて、松阪公民館の使用料に対して提言をいただければ、教育委員会で諮らせてもらう。ただ公民館で活動する人は多く、その中にはお年をめされている方も多し。地域の教育文化をしっかりと支えてもらっている方々に対して、使用料の免除というのは教育委員会ができる一つの支援だと思う。そのような想いもあり一定期間を過ぎると免除という形を現状取っている。

(2) 地域の教育力活用推進事業（コミュニティ・スクール）（学校支援課）

委員 コミュニティ・スクールという言葉聞かせてもらってから随分長くなり、鎌田校区でも実績をあげてもらっているようである。

委員 コミュニティ・スクールについてもっと知らなければならないと思い、いろいろと資料を見せてもらってきた。自分の校区の香肌は地域の人も先生もとても一生懸命してもらっているようである。ただ年間30万の予算と聞き、少ないのではと感じた。せっかく少ない生徒たちががんばってくれているのにもったいないと思う。

委員 自分たちで財源を作るということも大切だと思う。

委員 人が少ない地域だと財源を作るのも難しい。

事務局 昨年香肌の会議にも出席させてもらい、本当に香肌は地域の人も一生懸命してもらっていると感心した。自分たちで予算を確保してもらうことで、より進んだコミュニティ・スクールとなる。例えば今作ってもらっている野菜を、道の駅などで子供たちの手作りの看板とともに売ってもらえば、子供たちの地域への意識も広がり、お金も入ってくる。

(3) フルマラソン準備事業について (スポーツ課)

委員 2年間という準備期間でできるのか心配である。泊まる場所の確保なども考えていないと、こんな大きな事業は難しい。ゲストやペースメーカーなどお金もかかる。

事務局 これまでに他市で開催されているマラソン大会 12カ所の視察にも行った。体育協会や警察等からも協力をいただく予定である。PR ももちろん力を入れていく。受益者負担も考慮に入れ予算を確保していく。市民へのアンケート取ったが、フルマラソンをすることに対して肯定的な意見であった。これから自治会等へのお願いをさせてもらう。市民の方々の誇りとなるようなマラソン大会を作っていきたい。

委員 三重県の中で最初に松阪にフルマラソンをしてほしい。コースも現在検討してもらっており、安全で人気が出るコースをとれたらと思う。松阪警察や地区医師会からも協力をいただいて進めている。現在マラソン人口はとても増えている。子供たちの教育としても面白いと思う。ボランティアスタッフの育成と発掘もこれから早急に進めていきたい。三重には松阪のコースがあると言われるくらいにしたい。かなりの経済的効果があると確信している。

委員 メイン会場やスタートはどこを考えているのか。

事務局 案としては、駅前やクラギ文化ホール前、山下町の総合グラウンドを検討している。雨が降っても着替えができて、あまり迷惑がかからない場所をと思っている。

委員 交通の渋滞等ない場所を考えてもらえればと思う。

その他

事務局 公民館の使用料の議論に関しては、封書になるとは思いますが、ご意見を頂ける場を作ろうと思います。その意見をもって教育委員会へも諮っていききたいと思う。

以上